

からふる



平成27年2月 冬号
発行:千歳市教育委員会

学校給食アンケート調査・残食調査の結果

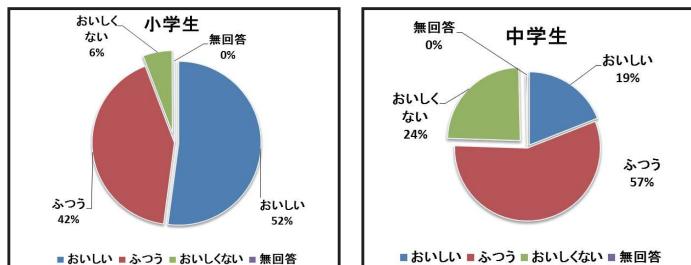
「千歳の学校給食はおいしい!?」「食べ残しが多い!?」「給食センターの設備は!?」

- 学校給食アンケート調査…H26.2~3実施、小学校全学年児童、中学校1,2年生の全生徒、小中学校全教職員を対象、回答数6,650人、回答率84.49%
- 残食調査…H26.11実施、小学校8校、中学校6校で3日間ずつ主食、牛乳、副食などの残食量を調査

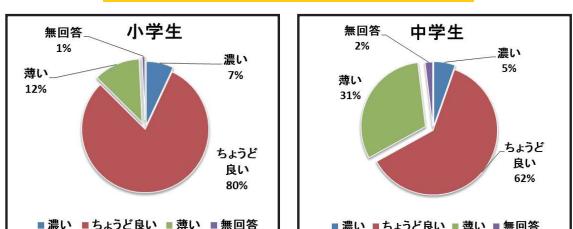
学校給食アンケートの結果

小学生52%、中学生19%が「給食がおいしい」と回答しており、「ふつう」を加えると約8割となります。しかし、「いつも残す」が小学生30%、中学生43%であり、その理由は、「嫌いな物がある」が最も多く、次に「時間がない」、「量が多い」であり、嫌いな献立は、八宝菜、野菜いため、ひじきの煮物などです。意見として「デザートや果物を多く出してほしい」「野菜の彩や食感が悪い」「献立の組合せが悪い」などの声がありました。

給食はおいしいですか



味付けはどうですか



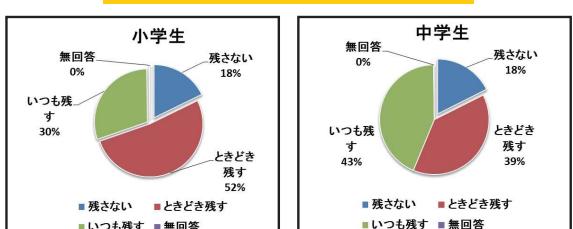
残食調査の結果

主食(ごはん・パン・麺)の残食は少ない、副食は野菜や豆を使ったメニューの残食率が高い、牛乳の残食率はおよそ10%です。

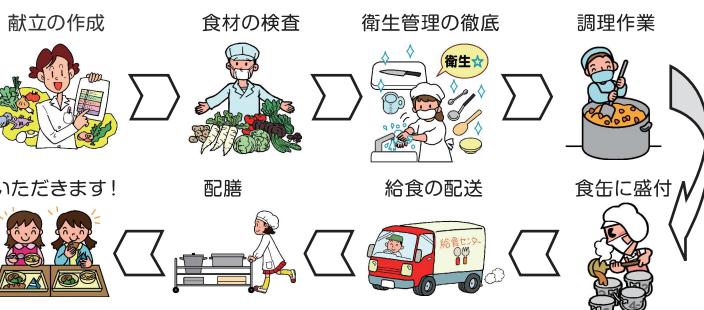
残食率の高いメニューは、キャベツときのこの味噌炒め54%、ミネストローネ37.9%、キャベツのソテー33.3%です。

残食率の低いメニューは、チーズ蒸しケーキ3.4%、白身フライ6.5%、厚焼き玉子8.9%などです。アンケート結果で嫌いな食材1位は豆類、2位は野菜であり、これらを使ったメニューの残食が多い結果となりました。

給食を残しますか



給食ができるまで～学校給食は生きた教材です！



◆調査結果から、食べ物の好き嫌いが多いこと、献立の組合せが少ないと感じたことがあります。教育委員会では、「学校給食改善プロジェクト会議」を設置し、「教育委員会が行うこと」「学校が行うこと」「家庭が行うこと」に分けて給食の改善策を検討しています。

◆給食費は食材の購入費にあてていますが、ほかに、人件費や燃料費、調理・配達委託費、調理機器のリース代など、給食を作るのに年間約3億5千万円の経費が必要です。

※仮にそれらを給食費に加えた場合、1食210円が加算され、小学校低学年で1食247円が457円、月額7,045円となる計算です。

学校給食センターの課題は？

平成5年のセンター開設後、9年に給食衛生管理基準が制定されたこと、施設が狭く調理機器を更新できないなどが原因で、次の課題があります。

- ・サラダ、和え物など冷たい物が提供できない
- ・焼き物が提供できない
- ・麺類の容器が小さい
- ・食物アレルギー除去食が提供できないなど



学校の特色ある取組を紹介します！

千歳小学校

朝チャレンジ ～なわとび二重跳びに挑戦～

今年度から体力づくりの一環として、全校でなわとびの二重跳びにチャレンジする取り組みを始めました。各学年、毎週1日、登校後に体育館で練習に励んでいます。子どもたちの意欲を高めるために、「チャレンジ1」→「7級～1級」→「初段～10段」までのレベルを設定しています。それぞれの級や段に合格したら、なわとびに色別のシールを貼ったり、初段以上の合格者は、職員玄関前に顔写真を張り出します。1月末現在で、全校児童298名のうち、初段以上が134名で10段が8名となっています。子どもたちは、目標に向けてとても意欲的に取り組み、昨年度と比較して体力も向上してきました。

昇級条件

6級～30秒間で平跳び50回
4級～平跳びから二重跳び1回
初段～二重跳び連続5回
3段～二重跳び連続30回
4段～後ろ二重跳び1回
10段～後ろ二重跳び連続5回



朝チャレンジの様子

支笏湖小学校

伝統の鼓笛隊 ～初めての大舞台～

支笏湖小学校『鼓笛隊』…その存在は支笏湖の湖水まつりと紅葉まつりには欠くことが出来ません。伝統のユニフォームに身を包み、颯爽と支笏湖商店街を行進する姿は毎年観光客の方々の注目の的です。その『鼓笛隊』が昨年10月26日「千歳アウトレットモール・レラ」からの依頼を受けて、ハロウィーンカーニバルの先導を務めました。全校児童16名の演奏に多くのお客様から大きな拍手を頂きました。例年支笏湖から出ることのなかった『伝統の鼓笛隊』が初めて大舞台で演奏した記念日となりました。



アウトレットモール・レラでの演奏

北斗中学校

地域に根差した活動 ～北斗フォーラムの開催～



北斗中学校では、地域の除草ボランティアや、リコーダー部がコミュニティセンター祭りに参加するなど、生徒が地域活動に積極的に参加しています。また、昨年12月には、地域の方と保護者と生徒が意見を交流する場として、生徒会が企画した「北斗フォーラム」を開催しました。今回は「インターネットの使い方」と「あいさつ」をテーマに意見交換を行い、生徒にとっては大人の考えにふれ新たな視点を見つける機会となり、地域の方からは中学生の意見に感心したというお話しもいただきました。今後も地域に根差した活動を継続し、地域とともに成長していく北斗中学校を目指して活動していきます。



北斗フォーラムの様子

「家庭の食卓」について見つめ直してみましょう！

「食育」という言葉、一体何のことなのか、きちんと把握・実践できていますでしょうか。食育は、食べ方や栄養の教育だけではなく、もっと大きな意味を含んでいます。それは、**食を通して人間として生きる力を育む**ことです。毎日口にする食べ物が、私たちの体をつくり、成長させ、活動源となり、病気に抵抗する力を生み出します。それだけに、「考えて食べる」力が必要なのです。

食の原点である「家庭の食卓」のあり方について、様々な問題があります。その一番の犠牲となるのは、やはり、“子ども”たち。体も心も、そして脳も成長途中にあり、大人よりも影響を受けやすく、後々改善することも難しいのです。

各家庭で「こ食」を改善することで、学校の給食を好き嫌いせずおいしく食べることができるようになります。
「孤食」一人で食べる 「個食」自分の好きなものを個々に食べる 「固食」自分の好きな固定したメニューしか食べない 「小食」少ししか食べない 「粉食」パンやパスタなど粉を使った主食を好む

とびっくす



千歳科学技術大学の学生による学習サポート事業を実施しました!

学習サポート事業は、教員の作成した指導計画に基づき、学生ボランティアが長期休みの児童生徒への指導を補助する事業です。今回の冬休みで5回目の実施となりました。

子どもたちからは「大学生のお姉さんがやさしく教えてくれた」、「お兄さんが楽しくて、質問しやすかった。むずかしいところを何度も説明してくれた」といった喜びの声が聞かれました。



実施校 小学校12校（千歳小、北栄小、末広小、緑小、千歳第二小、日の出小、信濃小、高台小、祝梅小、桜木小、向陽台小、泉沢小）
中学校4校（千歳中、青葉中、北斗中、勇舞中）



学習サポート事業の様子

姉妹都市アンカレジ市のミアーズ中学校を訪問しました！



市内中学生12名と引率者4名で結成された訪問団が、1月6日から13日の6泊8日の日程でアンカレジ市のミアーズ中学校を訪ね、交流してきました。

この事業は、姉妹都市であるアンカレジ市との相互交流を通して、両市の中学生が文化や言語、歴史などを学び合い、友好の輪を広げることを目的としているもので、今回の訪問で3回目となります。今年の5月には、ミアーズ中学校の生徒が千歳市を来訪する予定です。



青葉中学校がエコアクション賞を受賞！

温室効果ガス排出量等の削減目標の達成に向け、模範となる取組を実践した組織を表彰する千歳市役所エコアクション賞に、青葉中学校が表彰されました。

同校では、生徒会が中心となって公園等のゴミ拾いや節電、リサイクルを呼びかけ、教職員や業務技師もこまめな消灯を行なうなど、学校全体が積極的に環境問題に取り組んでいます。今後も青葉中学校だけでなく、各小中学校において積極的な環境問題への取り組みが期待されます。



千歳市と指宿市の小学生が交流をしました！

12月に姉妹都市の鹿児島県指宿市から小学6年14名が千歳市にやって来ました！姉妹都市が締結された翌年から始まった両市の交流事業は今回で20回目を迎えました。指宿市の児童はホームステイ先との交流や生まれて初めてのスキービーク、休暇村支笏湖での合同宿泊などを通して千歳市の児童と友情を深めていました。

千歳の児童は、夏に指宿に行行ったときのお礼と心からの歓迎をしていました。



千歳中学校

わたしたちの単P活動

千歳中PTAおやじの会では、多くの方の協力をいただき、環境整備作業を行っています。

今まで、学校周辺の柵の設置、はまなす学級農園移動のための畑起こし、各教室の黒板受けの設置など、校舎内外の補修を含めた活動を行ってきました。今年度は、東校舎1階廊下の壁面のペンキ塗りを行いました。直接太陽の光が当たらない廊下がきれいになり、明るく感じられるようになりました。



校舎のペンキ塗りの様子

スクールカウンセラー

学校を支える人たち

スクールカウンセラーは児童生徒だけではなく保護者や教員も含め、さまざまな悩みの相談に応じ、助言や心のケアを行う専門家で、千歳市では小規模校を除く、小学校12校、中学校8校に配置しています。また、配置されていない学校のため、教育委員会においても月2回のスクールカウンセラーによる教育相談を実施するなど、子どもたちが安心して生活できる学校づくりのために活動しています。



編集・発行 千歳市教育委員会（教育委員会庁舎2階 教育部 企画総務課）

■住所：〒066-8686 千歳市東雲町2丁目34番地

■電話：24-0819（直通）

■FAX：27-3743

■e-mail：kyoikukikaku@city.chitose.hokkaido.jp

■URL：<http://www.city.chitose.hokkaido.jp/>